

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】令和5年5月1日(2023.5.1)

【公開番号】特開2022-163182(P2022-163182A)

【公開日】令和4年10月25日(2022.10.25)

【年通号数】公開公報(特許)2022-196

【出願番号】特願2022-129037(P2022-129037)

【国際特許分類】

C 12 N 7/01(2006.01)
 C 12 N 5/0783(2010.01)
 A 61 K 35/763(2015.01)
 A 61 K 35/761(2015.01)
 A 61 P 35/00(2006.01)
 A 61 P 37/04(2006.01)
 A 61 P 35/04(2006.01)
 A 61 K 48/00(2006.01)
 A 61 K 38/46(2006.01)
 C 12 N 9/16(2006.01)
 C 12 N 15/12(2006.01)
 C 12 N 15/55(2006.01)

10

20

30

【F I】

C 12 N 7/01
 C 12 N 5/0783
 A 61 K 35/763
 A 61 K 35/761
 A 61 P 35/00
 A 61 P 37/04
 A 61 P 35/04
 A 61 K 48/00
 A 61 K 38/46
 C 12 N 9/16 B Z N A
 C 12 N 15/12
 C 12 N 15/55

【手続補正書】

【提出日】令和5年4月21日(2023.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

P T E N - L o n g を発現するように改変されている、組換え腫瘍溶解性単純ヘルペスウイルス (H S V)。

【請求項2】

前記H S Vは、腫瘍細胞を標的とするように改変されている、請求項1に記載の組換えH S V。

【請求項3】

50

前記 H S V は、腫瘍細胞において、選択的に複製するように改変されている、請求項 1 または 2 に記載の組換え H S V。

【請求項 4】

前記 H S V は、腫瘍特異的プロモーターの制御下で、ウイルス複製に重要な遺伝子を配置するように改変されている、請求項 1 から 3 のうちのいずれか 1 項に記載の組換え H S V。

【請求項 5】

改変された I C P 6 遺伝子座を含む、請求項 1 から 4 のうちのいずれか 1 項に記載の組換え H S V。

【請求項 6】

前記 I C P 6 遺伝子座は、- 3 4 . 5 の両方のコピーを欠失することによって改変されている、請求項 5 に記載の組換え H S V。

【請求項 7】

前記 H S V は、配列番号 1 またはその一部を含む遺伝子配列を発現するように改変されている、請求項 6 に記載の組換え H S V。

【請求項 8】

組換え腫瘍溶解性 H S V は、H S V Q u i c k (H S V Q) である、請求項 1 から 7 のうちのいずれか 1 項に記載の組換え H S V。

【請求項 9】

H S V P 1 0 (R A P T O R) である、組換え腫瘍溶解性単純ヘルペスウイルス (H S V)。

【請求項 10】

被験体において癌を治療する方法における使用のための、請求項 1 から 9 のうちのいずれか 1 項に記載の組換え H S V。

【請求項 11】

前記 H S V は、P D - L 1 を阻害する、請求項 1 0 に記載の組換え H S V。

【請求項 12】

被験体における癌の転移を阻害する方法における使用のための請求項 1 から 9 のうちのいずれか 1 項に記載の組換え H S V。

【請求項 13】

前記転移は、脳転移である、請求項 1 2 に記載の組換え H S V。

【請求項 14】

被験体において癌、またはその転移を治療するための医薬の製造における、請求項 1 から 9 のうちのいずれか 1 項に記載の組換え H S V の使用。

【請求項 15】

前記転移は、脳転移である、請求項 1 4 に記載の使用。

10

20

30

40

50